

「山陰海岸国立公園50周年」に注目!

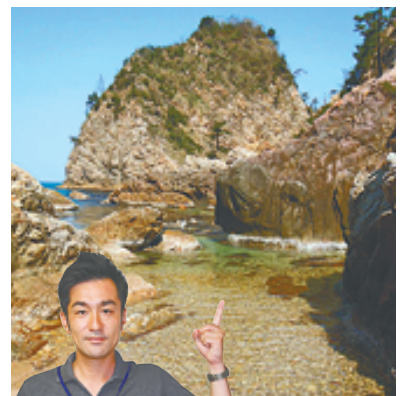
「山陰海岸国立公園」は、丹後半島の網野海岸から鳥取砂丘まで東西約75kmにおよぶ山陰海岸一帯を指し、地盤沈降や海面上昇による変化に富んだ景観が特徴です。今年と同海岸の国立公園指定50周年という節目の年。そこで最初は、これを記念したイベントに注目してみましよう。



山陰海岸国立公園でも屈指の景観を持つ浦富海岸

砂丘(鳥取市)では、7月14日(日)〜9月15日(日)に「ピカ・ピカとつとりサンインテラス」を実施。ペンライトなどの光で空間に文字や図形を描く様子やカメラのシャッタースピードを遅くして撮影、パラパラ漫画のような動画にします。参加者は随時受け付けるそうです。

例えば、同公園を代表する海岸景観の浦富海岸(岩美町)や鳥取



「透き通るような海の浦富海岸(写真上)で「光のアート」を描きませんか」と内蔵さん(同左) <http://www.pref.tottori.lg.jp/san-in-kaigan50/>

また8月24日(土)には、4万個の廃油キャンドルを鳥取砂丘内に並べて一斉点灯し、その数の世界記録に挑戦します。「今まさに、地元ボランティアの方たちがキャンドル制作中です」とは、同県生活環境部内藤賢司さん。「すごい光景が見

られますよ」。身ぶり手ぶりを交えた言葉には、自信がみなぎります。夏の同公園を訪れるなら「山陰海岸ジオパーク」についても押さえておきたいところ。続いて紹介するアクティビティとも関わりがあり、楽しみの幅が広がるはずですよ。

水と緑とアクティビティ 夏の鳥取は楽しみ満載!

キーワードは、水と緑とアクティビティ。今年の夏の鳥取県は、山陰海岸の国立公園指定50周年に合わせた記念イベントや、風光明媚な景観に囲まれて楽しむ自然体験など、いろいろな楽しみが待っています。

船体が透明なカヌーで「海上散歩」

まず「ジオパーク」とは地質学的に重要な地質や美しい景観を持つ自然公園のことで、「山陰海岸ジオパーク」と呼ばれるのは鳥取・兵庫・京都にまたがる東西約110kmです。



船体が透明なクリアカヌーは、視界を遮られることなく楽しめる(写真上)。「乗った瞬間から海と一体になれます」と喜瀬さん(同右)

ガイドの喜瀬紀代美さんが「説明不要。一見すれば分かりますよ」と話す通り、航行中は驚きと感動の連続。特にジオパークの象徴ともいえる洞門をくぐる瞬間は、歓声を上げずにはいられません。同じ岩美町内の山陰海岸学習館では山陰海岸ジオパークの魅力や3D映像で紹介。ジオパークの予習・復習に活用を。

山陰海岸国立公園もその一部で、浦富海岸には海食や風食でできた洞門や洞窟、奇岩が点在しています。

この海岸こそがアクティビティの舞台。目玉は今夏から登場した、船体が透明な「クリアカヌー」です。ガイドの喜瀬紀代美さんが「説明不要。一見すれば分かりますよ」と話す通り、航行中は驚きと感動の連続。特にジオパークの象徴ともいえる洞門をくぐる瞬間は、歓声を上げずにはいられません。同じ岩美町内の山陰海岸学習館では山陰海岸ジオパークの魅力や3D映像で紹介。ジオパークの予習・復習に活用を。

「全国都市緑化とつりフェア」も楽しみ

水と緑を楽しむとなれば、鳥取では初開催となる「全国都市緑化フェア」も見逃せません。開催は9月21日(土)〜11月10日(日)と少し先ですが、湖山地公園(鳥取市)をメイン会場に準備が進んでいます。間けば、身近な草花の美しさを再発見してもらおうと「ナチュラルガーデン」を整備中とのこと。「鳥取流緑化スタイル」に期待しましょう。



整備が進む湖山地公園



期間限定のものから話題のものまで、旅の計画を立てる前にチェックしておきたいイベント、グルメ、土産物をピックアップして紹介します。

アクセス
電車…JR名古屋→(新幹線)→JR姫路→(スーパーはくと)→JR鳥取(約3時間20分)
車…一宮IC→(名神高速道路→中国道)→佐用JCT→(鳥取自動車道(無料))→鳥取IC下車、鳥取市街へ(約340km)

問い合わせ
ふるさと鳥取県産業・観光センター(中区栄4-1-1 中ビル4階/電話052-262-5411) <http://www.pref.tottori.lg.jp/nagoya/>

イベント グルメ 土産物 夏のとっておき4選



「モアイの置物」
砂丘の砂を使った置物。砂の美術館に隣接のショップで購入可。大700円(高さ7.5mm)、小250円(同5.5cm)。



「イカ墨カレー」
浦富海岸西部の網代港にある「あじろや」の看板メニュー。イカが名物というだけあり風味豊か。650円。



「海力(かいりき)めし」
賀露港の3つの飲食店で提供中の季節メニュー。8月まで「岩ガキと白イカ」(5品2730円など)が楽しめます。



「砂の美術館 第6期展示」
鳥取砂丘の一角にある「砂の美術館」は、世界初の砂像展示専門の屋内美術館。現在開催中の第6期展示のテーマは「砂で世界旅行・東南アジア編」。エキゾチックで神秘的な砂像は必見。入館料600円(小・中学・高校生300円)。8面に「緑化フェア」とのセット入場券のプレゼントあり。

中日新聞社発行「ショッパー」掲載(2013年7月4日号)